

協働のまちづくり講演会(平成31年度事業)講演候補者一覧

資料3-4

| No. | 名前 | 所属 | 実績 | 過去の演題 |
|-----|-----------------------|------------------------|---|---|
| 1 | 松林 秀樹 (まつばやし ひでき) | 平成国際大学准教授 | 平成28年、久喜市は平成国際大学と、教育、産業、防災、福祉、まちづくり等の様々な分野で地域の活性化を共に進めるため連携に関する基本協定を結んだ。 | 特になし |
| 2 | 西武 ライオンズ 球団職員 | 株式会社西武ライオンズ | 平成30年3月、久喜市は西武ライオンズと「スポーツ振興に関すること」、「青少年の健全育成に関すること」、「地域振興に関すること」の3事業を柱とした連携協力に関する基本協定を結んだ。 | 特になし |
| 3 | 名和田 是彦 (なわた よしひこ) | 法政大学法学部教授 | 横浜市を中心にコミュニティと住民参加の実態を研究するとともに、自らも市民活動団体「まちづくりフォーラム 港南」の代表として、まちづくり活動を実践している。総務省「新しいコミュニティのあり方に関する研究会」座長 横浜市市民活動運営支援事業審査委員会委員長 | 「コミュニティ活動を含めた市民活動と行政との協働について」 「自治体コミュニティ政策とまちづくり」 |
| 4 | 三浦 匡史 (みうら ただし) | さいたまNPOセンター副代理理事 | 市民参加を促進するためのワークショップの開催、シンポジウムの企画・運営、様々な市民団体や個人とのネットワークを形成するためのつなぎ役として活躍し、市民と行政を仲立ちするまちづくりNPO活動を行っている。 | 「なぜ、いま協働なのか？」ふじみ野市講演会 |
| 5 | 庄嶋 孝広 (しょうじま たかひろ) | 市民社会パートナーズ代表 | 民間企業、NPO法人勤務を経て、平成18年市民社会パートナーズ開業。千葉県四街道市任期付職員や東京都大田区非常勤職員を歴任。 | 「きょうどうは、むかし“共同”、いま“協働”」 ～住民、大学、企業、行政、その“違い”が地域の力～ 「いまふうな地域コミュニティへの挑戦」 ～協働で「共同体」を活性化する～ |
| 6 | 徳田 太郎 (とくだ たろう) | NPO法人日本ファシリテーション協会フェロー | 2003年にファシリテーターとして独立、市民活動やまちづくり、医療や福祉、教育や文化などの領域を中心に、年間180日以上セミナーやワークショップを実施。 | 市民が主役のまちづくり「地域での会議の進め方」ひたちなか市 |